明延鉱山明神電車は明延から山のトンネルを通り神子畑精錬工場まで鉱石を運ぶために1929年に建設された6キロメートルある鉄道だった。貨物列車に加え，鉱山労働者や二つの町を通勤する他の人たちのために客車も走らせていた。客車の乗車賃は丁度1円だったので列車は｢1円電車｣として知られるようになった。それは1945年から1985年まで営業された。客車のうちの３輌が明延鉱山の近くに今でも展示されていて，さらに1輌は復元されて訪問者たちが，線路に新しく建設された70メートルの区画で乗れるようになっている